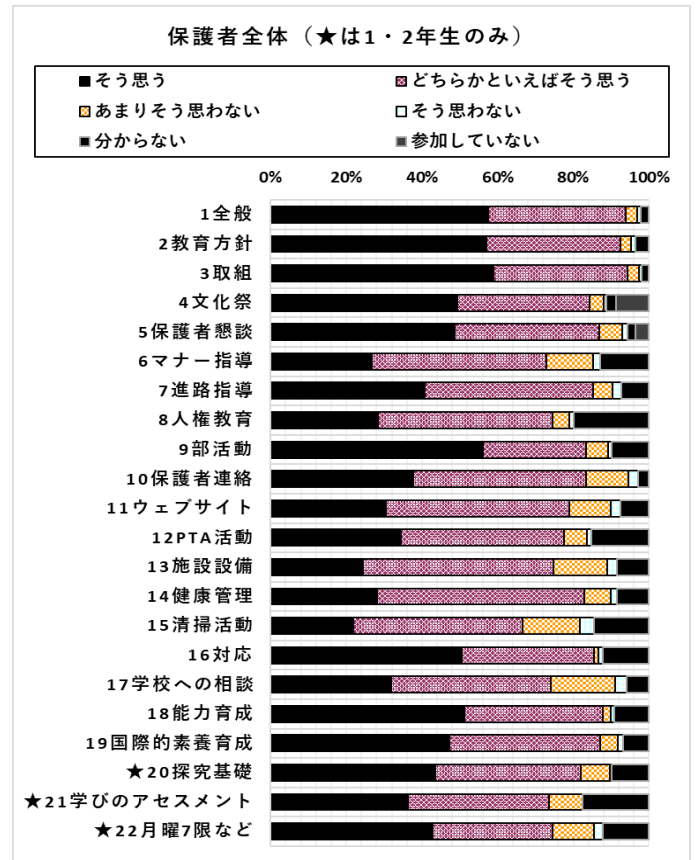
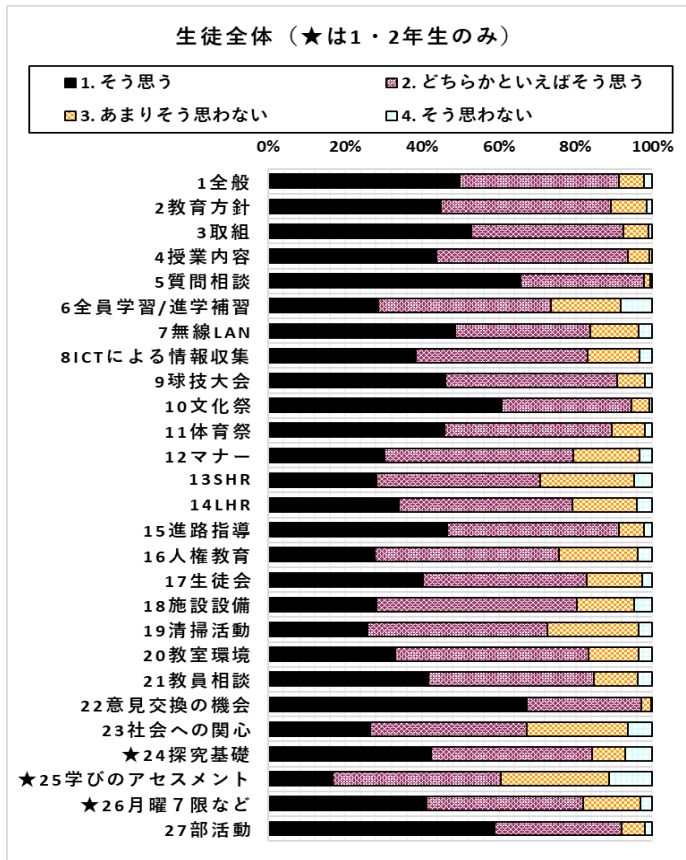


令和5年度 学校評価アンケート〔令和6年1月実施〕結果



1月にご協力頂いた「学校評価アンケート」の結果についてお伝えします。今年度も「探究」を柱に「自立する18歳」の育成をめざして一つ一つの取組を行ってきました。生徒・保護者の方にその取組がどのように届いているか、各教員がそれぞれの取組について振り返り、生徒・保護者のみなさまの声を真摯に受け取り、来年度に活かしていきたいと思ひます。

全体的な結果については、生徒は堀川高校での学校生活に概ね満足しており、また保護者の方々におかれましても、堀川高校のさまざまな教育活動を概ね肯定的に捉えて頂いていることがうかがえます。生徒・保護者アンケート[1]「高校生活・教育活動は全般的に満足できるものですか」 [2]「教育方針を日々の活動に生かしていると思ひますか」 [3]「取組が生徒の成長に効果的であると思ひますか」の【教育活動全般について】の項目については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒・保護者の方の割合がいずれもほぼ90%でした。今後も本校の取組へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

一人一台端末の活用、Wi-Fiへの接続が可能となつて3年目を迎えました。生徒アンケート[7]「私有の端末を校内の無線LANにつなげることで、授業や主体的な学びに活かせると思ひますか」の項目では、全体で84%の生徒が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。一方、自由記述欄では、Wi-Fi環境のさらなる安定化を求める意見も多くありました。引き続き、京都市教育委員会の支援も受けながら、ICT環境のさらなる充実を行い、授業をはじめとした生徒の学習活動や主体的な取組に活かしていきたいと考えています。

生徒アンケート[19]、保護者アンケート[15]の「清掃活動」に対する意識の低さが例年課題となつておりましたが、日々の清掃活動やごみの分別など生徒の美化意識を高め、自分たちの学習環境を整えていけるよう、日々指導を行った結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の生徒の割合が前年度の54.7%から今年度は72.7%に増加しました。ただ、まだまだ不十分であるとの自由記述も多くあり、来年度、より丁寧に取組んでいきたいと考えています。

また、今年度は新課程となる学年が2学年となりました。生徒アンケート[25]と[26]が新課程での新たな取組である「学びのアセスメント」と「授業のない7時間目」に関する項目です。「授業のない7時間目」を有効に活用できていると考えている生徒は82%いる一方、「学びのアセスメント」については60%にとどまっています。新課程の生徒が3学年そろそろ来年度、この新たな取組をより一層充実させていきたいと考えています。

改めまして、アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の方々におかれましては、生徒のご家庭での様子や困りごとなど、お気軽に担任へご連絡頂ければと思ひます。

保護者の皆様と学校が連携しながら、生徒の「自立する18歳」への成長を支援していきたいと考えております。今後、より一層、生徒・保護者の方々の声に耳を傾けながら、本校の教育活動を推進してまいります。